

ご 挨 拶

この度、第54回日本臨床生理学会総会会長を拜命し、獨協医科大学心臓・血管内科で担当させていただくことになりました。会期は平成29年11月4日（土）、5日（日）の2日間で、宇都宮市の栃木県総合文化センターで開催させていただく予定です。

本学会は専門領域を超え、横断的に生体反応や病態を学び、そして学際的に考察することを目的とした学会です。多くの学会が専門医制度を有し（今後専門医制度は大きく変わっていきますが…）、その単位認定のために参加する学会員が多いなか、本学会の参加者は専門医単位とは無関係に、普段討議する機会の少ない他領域の様々な専門家たちとの情報交換の場を求めて学会へ参集します。そうした意味で本学会の果たす役割は大きいと感じます。

今回のテーマは「臨床生理学：地域医療への新展開」とさせていただきました。

様々な領域で臨床生理検査法が著しく進歩した昨今、かつては専門家しか使用できなかった機器が、今は非専門の実地医家の先生方の間でも、疾患のスクリーニング、プライマリケア、一次・二次予防など広く日常診療に使用されるようになったものが多々あります。実地医家の先生方は我々専門家とは異なった独特の視点で生理検査を評価し、時に我々専門家がむしろ勉強させていただくこともあります。今回の本学会では、多くの実地医家の先生方にも広くご参加いただき、ご発表いただくことで専門家との間で忌憚のない情報交換が出来るような会にしたいと考えております。

本学会は私共の心臓・血管内科の前身である旧第一内科の初代教授であり、後に獨協医科大学学長になられた故吉村正治先生が創設されました。そんな伝統ある本学会を主催させていただくことは私にとってはこの上ない榮譽であります。参加される皆様に魅力を感じて頂けるような会にすべく鋭意準備を進めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

第54回日本臨床生理学会総会
会長 井上 晃男
(獨協医科大学 心臓・血管内科)